

一般質問

※本稿は、質問者が作成しています。

12月定例会では15人の議員が一般質問を行いました。

- ・紙面の都合上、質問等の一部を掲載します。
- ・QRコードは各議員の録画映像へのリンクです。
- ・会議録は2月下旬にウェブサイトに掲載予定です。

ID 1005109

服部 修寛 議員 (新緑風会)

教員の多忙化解消について

Q 県教育委員会の教員多忙化解消プランでは、来年度勤務時間外の在籍時間が月80時間を超過する教員を0にする事を目指している。達成は可能か。

A 多忙化解消検討委員会で協議し目標値に近づく様取り組んでいきます。

Q 部活動ガイドラインの策定状況と概要を報告して欲しい。

A 今年度中の策定を目指し、適切な休養日の設定や参加大会の見直し等来年度からの実施を検討しています。

重いランドセルの解消

Q 小中学生の登下校の重い荷物の負担軽減のため学校に置く事ができる教材を明確化し、学校で保管管理すれば児童生徒も安心して荷物を置いておく事ができると思うがいかがか。

A 日頃から置くことを認めている携行品については子どもや保護者に周知し、下校時の教室等の施錠を徹底することを各学校に指導していきます。一括管理が必要なものがあれば各学校で柔軟に対応し、安心して荷物を置くことができる様に検討していきます。

Q 国は2020年度以降、デジタル教科書の本格普及を検討している。導入についてどのような考えを持っているか。

A 現状では環境面が整っていない事から導入は難しいです。



渡部 晃久 議員 (新政会)

一宮市立市民病院の駐車場整備について

Q 病棟に近い駐車場が少ないとの声がある。隣接する一宮商業高校のブルの敷地を駐車場へ転用できないか。

A 現在愛知県と協議しておりますが、なるべく早期に駐車場が整備できるように努力してまいります。

特定空家の措置について

Q 家屋の倒壊等の恐れがある「特定空家」、市はどのような手順で対応を行っているか。



A 助言指導→勧告→命令の順に措置を実施し、改善されない場合は最終的に「行政代執行」となります。但し財産権の制約を伴うことから慎重に手続きを進めていきます。

Q 瓦や壁等が落下し隣接家屋に被害が出た場合、その責任の所在は。

A 一般的には空き家の占有者または所有者の責任になります。

災害発生時の情報提供体制について

Q 避難所でもWi-Fiが必要と思われるが設置状況は。

A 12月2日にKDDIと締結する包括連携協定により、一部に設置される見込みです。



高橋 一 議員 (新緑風会)

民間福祉施設の停電対策

Q この夏の台風で一宮市内も大停電した。民間の福祉施設の緊急発電設備に市の助成制度を設けられないか。

A 国に土砂災害等に備えた補助制度があるため予定はありません。

市制施行100周年記念イベントについて

Q 一宮市の発展を語るうえで忘れてならないのが「宮空襲」。記念事業の柱にすることはできないか。

A 組織される実行委員会で検討を進めていきたいと考えます。

小中学校全教室エアコン設置について

Q この夏の小学校全教室への取り付けで、地元業者に対してどれだけの経済効果があったか。

A 管工事の6割以上を市内業者が担当、校舎全体の設置ノウハウは他都市での受注機会に繋がると考えます。

タワーパークマラソンの救護体制

Q AEDの配置など安心して走ってもらう体制はどのようになっているか。

A AED12台に医師2名、看護師3名、救急車1台とボランティアのドクターランナーで万全を期しています。



その他の質問項目
・民生委員の役割

中村 一仁 議員

(新緑風会)

受動喫煙対策の推進について

Q 子どもが利用する尾西図書館、玉堂記念木曾川図書館及び子ども文化広場図書館の敷地内にある屋外喫煙所を撤去できないか。

A 尾西図書館などにある屋外喫煙所は、撤去も含めて検討します。

Q 一宮駅東西の喫煙禁止区域の指定喫煙所にある灰皿を撤去し、完全禁煙区域化してはどうか。

A 健康増進法の改正に伴う屋外分煙施設の技術的留意事項に沿ってどのような改善が可能かどうか、総合的に検討します。



Q 受動喫煙防止条例の制定について考えてはどうか。

A 他都市の動向や市民及び関連団体の声を聞きながら慎重に検討します。

公契約条例の制定について

Q 一宮市において、公契約条例の制定に向けて、今後どのような課題の解決に取り組むのか。

A 一般競争入札の拡大やダンピング対策の強化など、さらに入札制度を見直す中で公契約の適正化を図りながら、公契約条例の制定に関して、引き続き検討します。



柴田 雄二 議員

(公明党)

「100万人訪問・調査」結果で見えてきた介護の課題について

Q 介護サービスを利用されている方の日常生活での困りごとに、通院、力作業、掃除等がある。こうしたちょっとした困りごとに支援ができないか。

A 要介護1〜5の方は、介護保険で洗濯、掃除などの家事援助や通院介助を、要支援1、2の方や事業対象者は、「あんしん介護予防事業」の家事援助を利用できます。どちらにも該当しない方や要介護者や要支援者でも介護保険サービスで利用できない庭の掃除や換気扇の掃除などは、「ちよこボラサービス」を利用していただけます。

Q 認知症の人への対応に困っている方が多い反面、認知症初期集中支援チームの周知度が低い。どのように普及啓発をしているか。

A 相談は、地域包括支援センターを通してチームで受けていましたが、今年度から直接受付に変更し、民生委員、ケアマネジャーや市広報などを通して普及啓発に努めています。

Q 生活支援体制整備事業の推進についてどのように取り組まれているか。

A 市全体の事業は、社会福祉協議会に委託し、各連区分は、地域包括支援センターに委託して事業を進め、地域の課題を地域の方々と協議し、個々の問題の解決に取り組んでいきます。



河村 弘保 議員

(公明党)

保育園のトイレ、空調整備の進捗

Q 市内の公立保育園のトイレの洋式化率は、63・6%まで進んでいる。しかし、園ごとによって開きが生じている。今後の洋式化への方針を問う。

A 市内全体を通して、洋式化率の低い園を中心に、順次、検討し、洋式化を進めてまいります。

Q 小・中学校の空調の整備も完了し、次は、体力的に弱い子供たちの通う保育園の全クラスに一日も早く、エアコンの設置を要望したいがいかがか。

A 乳児・年少児の保育室と遊戯室には全て設置が完了しています。年中、年長クラスにおいても、継続的に順次、エアコンの設置を進めてまいります。

スマホの充電スポット

Q 災害時、必要な情報を収集・発信することができるスマートフォン。バッテリー問題が懸念されている中、ひとが集まる駅や公園等に充電できるスポットの設置を検討してはいかがか。

A 各指定避難所に発電機を配置しておりますが、携帯電話端末の充電は想定しておりませんでした。今後、電源を提供できる企業との協定を推進していくとともに、ソーラーパネルが設置された公共施設での充電の可否についても調査を進めてまいります。



鵜飼 和司 議員

(一志会)

都市公園管理の現状と課題、新しい民間活力の導入について

Q 公園活用の幅と可能性をいかに広げられるか。魅力的な市内公園を市内外の皆さんに、PCやスマホからひと目で魅力を伝えられるように、ウェブサイトでワンタッチ操作により、その公園のイメージを映し出すことができるシステムの導入は可能か。

A 議員発言のとおり、有意義なことであり、ウェブサイトを管理運営しています情報推進課と調整を図ってみたいと考えます。

Q 公園数の増加や管理コスト高騰に伴い、膨らみ続ける維持管理費をいかに確保していくか。次の一手は「公園改革」である。現在、ネーミングライツ事業等で694万8千円の自主財源確保をされている。地域に親しまれる市内167の公園と地域に根ざした企業に協力を募り、年間契約を結ぶことで、企業名と協力内容を記載した広告看板を設置する「パートナーシップ協定」の創設は可能か。例えば、年間10万円で半数の公園で締結できれば、830万円の自主財源が確保できる。

A 公園を媒介にし、民間活力を導入するといった新しい形かと思えます。成立するための条件等、解決すべき課題が多いため、議員提案や紹介事例を参考に研究したいと考えます。



佐藤 英俊 議員

(新政会)

一宮市の文化芸術

Q 一宮市では、学校と美術館・博物館との連携による取り組みなどはあるのか。また、参加型プログラムは展開されているのか。

A あいちトリエンナーレ地域展開事業の一環として美術作家から児童たちが指導を受け、作品制作に取り組みワークシヨップを開催しました。参加型プログラムは、小学3年生が博物館で地域の人々の生活がどのように変わってきたかを「見る・聞く・調べる」といった具体的な活動や体験を通して考えさせる事業を毎年展開しています。

Q 文化庁の文化芸術創造拠点形成事業を活用してはどうだろうか。

A 経済部と教育文化部とが、相互に連携・協力し、新たな事業・施策の方向性の一つとして研究していきたいと考えています。

Q 過去に一宮市美術館及びギャラリーの創設に関する要望書が一宮市議会で諮られたか。

A 「一宮市美術館及び美術ギャラリー建設」の請願書が、平成12年2月18日に一宮市議会へ提出、受理されました。当時の一宮市議会総務文教委員会において審査され、平成12年3月27日付の請願書審査結果報告書の意見及び審査結果の中で「趣旨を妥当と認め趣旨採択」とされています。



島津 秀典 議員

(新政会)

免震装置データ改ざん問題と本庁舎の安全性について

Q 市役所本庁舎に、改ざん問題の免震オイルダンパーが使用されているとのことだが、現状の安全性と取り換え工事の見込みは。

A より安全率を高めた設計であったので、国土交通大臣の認定基準は満たしています。当市ではメーカー側正規品との交換工事の早期実施を求めました。

狭あい道路対策について

Q 狭あい道路と呼ばれる幅員の狭い道路は、交通の妨げばかりが震災や火災時に緊急車両の通行が困難である。幅4mの道路とするために民地の寄付を受け、その測量、分筆費用を市が補助できる施策は考えられないか。



A 民間より寄付される敷地の用地測量や分筆等にかかる費用については、厳しい財政状況下で様々な問題があります。他市の状況を参考に関係課連携して研究していきたいと考えています。

その他の質問項目

- ・台風接近における避難所の運用について
- ・五輪開催気運の高まりを契機にスポーツによる地域活性化を



竹山 聡 議員

(新政会)

一宮市の学校教育について

Q 教職員の多忙化解消に向けて、どのような取組みをしているのか。

A 一宮市教職員多忙化解消検討協議会を立ち上げ、学校閉校日の実施やICT活用を踏まえた事務の標準化、外部人材の活用、タイムレコーダ導入による勤務時間の管理などの協議を進めています。

Q 一宮市には多忙化解消に向けた具体的な計画を示して欲しい。

A 多忙化解消に向けて、できるところから順次進めていき、プラン作成については多忙化解消検討協議会で検討します。

Q 児童生徒の健康は第一だが、エアコン設置により学習環境が改善されたので夏休みなどの長期休業期間の変更を検討してはどうか、また学校閉校日の実施についても、他の長期休業でも実施してはどうか。

A エアコン設置により学習意欲のみでなく健康面でも環境が大きく改善されました。教職員の現状は、夏休みなどは集中研修や部活動、校外活動の準備など、夏休みだからこそこできる内容の勤務が多くあります。長期休業は子どもにとっても意義深い期間なので、変更は簡単なことではないと考えています。学校閉校日は、夏休み以外でも実施できないか検討します。



西脇 保廣 議員

(新緑風会)

バスについて

Q 利用者の利便性向上にコース変更やバス増設などできないか。

A 利用状況や地域のニーズを見ながら協議する必要があると考えています。

公共施設について

Q 今夏休場した尾西プールの今後はどのようにしていく考えか。

A 富田山公園再整備についての検討結果を見ながら、総合的に判断していきます。

都市計画道路について

Q 木曾川玉野線を南へ延伸し、尾西工業団地につながる計画はあるのか。

A 計画はございませんが、県による北尾張中央道と新濃尾大橋に接続する萩原祐久線の整備により、尾西工業団地へのアクセス機能も充実するものと考えております。

Q 三条地区で進められている北尾張中央道の整備進捗状況は。

A 現在は起街道から県道一宮大垣線までの用地取得と工事を鋭意進めていると聞いております。

Q 新濃尾大橋の工事の進捗状況は。

A 橋脚八基のうち愛知県側の四基が完成し、三基の工事を進めており、最後の一基の橋脚工事も今年度内発注が予定されており、完了を待ちます。



森 利明 議員

(一志会)

選挙の期日前投票所について

Q 来年は我々議員にとつては、四年に一度の市議会議員の改選の選挙が行われる年。なぜ四年に一度、統一地方選挙が行われるか。

A 選挙の円滑な管理執行と選挙経費の節約を期するとともに、国民の地方選挙に対する関心を高める意味において、臨時特例法により地方選挙を統一して行うようになりました。

Q 市長選挙が告示日に立候補者が一人だけだと無投票となるが、その時の選挙費用はどれほどかかるか。

A 仮に無投票となっても、告示日までには必ず準備が必要なポスター掲示場設置に関する費用をはじめ、投票用紙や選挙お知らせ券の作成費など二十万円ほどかかることとなります。

Q 平成27年に実施された、市議会議員選挙の期日前投票をされた人数を教えてください。

A まだ、この時はイービルの期日前投票所はありませんでしたが、23194人で全体の16.47%でした。

Q 今後、期日前投票所を増設する予定はあるか。もしあるとすれば市民の利便性を考えれば、国道22号より東部に新たに期日前投票所を設置してはどうか。

A かねてから調査・検討は行っていますが、今後検討をしたいと思えます。



平松 邦江 議員

(公明党)

がん対策の取り組み

Q がんの1次予防・2次予防の取り組みと課題についてどう考えるか。

A 喫煙や過剰飲酒、肥満・やせ、野菜不足など予防可能なリスク要因の啓発と、各種がん検診を実施しています。がん検診受診率と精密検査受診率が目標に達していない事が課題です。

Q 市民病院の取り組みはいかがか。

A がんの治療法4つすべてを行っています。がん相談支援センターを開設し、AYA世代への相談やアピアランスクエアも行っています。

Q がん教育の取り組みはどうか。

A 国の平均より上回る率で実施しています。生徒の感想も好評で今後も進めてまいります。

健康寿命について

Q 健康寿命延伸のための市の対策を伺いたい。

A 健康日本21いちのみや計画で全体目標の一つに掲げ、ライフステージに応じた適切な支援と、身近で健康づくりができる環境を整える取り組みを進めています。

Q 限られた人だけではなく無関心層へも届くウォーキングアプリなど、総合的で充実した取り組みを要望する。

A スマートフォンを活用した健康づくりも検討します。



彦坂 和子 議員

(日本共産党一宮市議団)

介護保険の負担軽減

Q 今年から介護保険料が上がり、暮らしが大変との高齢者の声がある。次期計画に向けて、介護保険料の引き下げを検討してほしい。

A 国でも第8期の計画について具体的な議論がされていませんので、これからの国の動向を注視していきます。

市民のいのちと健康を守る施策を

Q 乳がん検診の受診率が減少しているのは、自己負担額が平成29年度に500円から1000円に引き上がったことが大きく影響していると考えられる金額に戻すことを検討してほしい。

A がん検診の費用は、長い目で見れば医療費の抑制につながることは承知していますが、厳しい財政状況ですので、ご理解をお願い致します。

今後の学校給食調理場の整備について

Q 旧一宮地区の2つの調理場を更新する基本計画、新たな共同調理場についての整備運営計画、事業手法の検討は、子どもの未来に関わる、今後数十年に渡る重要な事業である。市民への説明会を開催してほしい。

A 説明会開催については特に考えていません。整備予定地の地元への説明会は、適切な時期に開催します。



尾関 宗夫 議員

(日本共産党一宮市議団)

水道の民営化・広域化でなく持続可能な水道事業を

Q 6月の大阪北部地震や山口県周防大島町・大島大橋へのタンカー衝突事故による長期断水などから、水道事業広域化についての考え方は。

A 愛知県主体の「水道広域化研究会」に参加し研究しています。水道法が改正されても水道料金への影響もあり慎重な判断を求められるため、すぐに広域化へ進む状況ではありません。水道事業の民間委託について、今後の計画は。

A 佐千原浄水場の中央監視設備の更新事業でPFI導入を考えています。

Q 民間委託を進めるうえで、水の安全・安心について持続可能な水道事業としての考えは。

A 水の安全・安心に係る水質検査において検査の技術や信頼性を確保している化学の専門知識を有した職員で行っています。施設の修繕・改良事業の設計・現場監督についても、土木・電気・機械の専門知識を有した職員が行うことで技術の継承を行っています。現段階では、水道法が改正された場合でも、すぐに広域化、民営化に進む状況ではないと考えています。

その他の質問項目

・保育事業は地域の実情と住民要望に沿った政策で

